正 誤 表 つづき

頁	行	誤	正
302	左下 14	溺死者 11941	溺死者 11861
"	下 7	天明 1 III 18	安永 10 III 18
303	上 8	寛政 4 XI 28	寛政 4 XII 28
"	上 15	文化 1 VI 7	文化 1 VI 4
304	上 5	襲まれ,	襲われ
"	上 16	1872 VIII 28	1872 III 14
305	上 5	1898 IV 23 ^h 30 ^m	1898 IV 23 8 ^h 37 ^m
"	上 11	1901 VIII 9 18 ^h 23 ^m	1901 VIII 9 18 ^h 24 ^m
"	上 13	その他は上と同じ	$M = 7.8$, その他は上と同じ
"	下 14	1923 IX 1 11 ^h 53 ^m	1923 IX 1 11 ^h 58 ^m
306	上 11	$\lambda = 144.9^{\circ}\text{E}$	$\lambda = 144.7^{\circ}\text{E}$
"	下 13	1938 VI 29	1938 V 29
"	下 12	波高 90 cm	高さ 90 cm
"	下 9	$\lambda = 141.6^{\circ}\text{E}$	$\lambda = 141.7^{\circ}\text{E}$
"	下 8	小名浜	塩釜
"	下 5	小名浜	塩釜
"	下 3	小名浜	鮎川
"	下 1	小名浜	塩釜
308	下 11	1956 VIII 13 1 ^h 56 ^m	1956 VIII 13 1 ^h 59 ^m
309	上 4	$\lambda = 143.5^{\circ}\text{E}$	$\lambda = 143.8^{\circ}\text{E}$
"	下 21	$\varphi = 40.0^{\circ}\text{N}$	$\varphi = 38.0^{\circ}\text{N}$
"	下 8	1964 V 16 ^h 58 ^m	1964 V 7 16 ^h 58 ^m
310	上 14	苫小牧の VI,	V,
"	下 2	1780 IV 29	1780 VI 29
311	上 8	1868 IV 13 16 ^h 45 ^m (明治 1)	1968 VIII 13 16 ^h 45 ^m (慶応 4)
312	上 6	島でも若干の被害	Samoa 島でも若干の被害
313	下 7	$\varphi = 107^{\circ}\text{S}$	$\varphi = 10.7^{\circ}\text{S}$
"	下 3	$\lambda = 122.2^{\circ}\text{E}$	$\lambda = 122.3^{\circ}\text{E}$

地 震 第 2 輯
第 22 卷 (1969) 253-255 頁

本邦における被害地震の 日本暦について

気象庁地震課 湯 村 哲 男
(昭和 44 年 4 月 21 日受理)

On the Japanese Calendar of the Disastrous
Earthquakes in and near Japan
Tetsuo YUMURA
Seismological Section, Japan
Meteorological Agency
(Received April 21, 1969)

本邦およびその近傍に発生した被害地震に関する表は数多く発表されているが、その多くは震災予防調査会報告に依存しており、それにそれぞれ調査した部分の修正を施している。それらを集大成したのが武者金吉著日本地震資料である。現在、一般に広く愛用されている理科年表もその原典は前記のものに依存している。

それらに記載されている過去の被害地震の和暦年代を見ると改元についての考慮がなされていない。このため、たとえば、「安政元年の大地震」といわれている古今未曾有の大地震が発生したのは、安政年間ではなく、嘉永 7 年 11 月 4 日であり、この大

地震後、11月27日に改元されて安政となつたのである。したがつて、通称「安政大地震」は、本来ならば「嘉永の大地震」と称されるべきである。地震に関する記録が地震後ある程度世情が安定した安政年間になつて記録されたため、この名称が生まれたものであろう。このような例は他にも多く見られ、地震等による自然災害後改元されることは過去に多く見られる。

幸いに今回、岩波書店より日本史年表が出版され、同書中に改元年月日が併記されているため、この資料によつて、理科年表記載の被害地震発生の日本暦年号を全面的に調査し直した結果は別表のようである。

なお、このような誤りは、すべて改元した元年の

地震であるが、中には改元後の地震もあるので、将来、再調査の際、改元の見落としが否かの疑問も生ずることが考えられる。この手数をはぶくため、元年の地震については全部収録し、備考欄に改元年月日を記しておいた。

また、ついでに、天武12 X 14の地震の西暦年は日本史年表によれば683年であるが、三正綜覧によれば684年となり、1年の差を生ずる。これは、天武天皇(大海人皇子)が実権を握つた年(西暦672年)を天武元年とした日本史年表と、即位の年(西暦673年)を元年とした三正綜覧との相違によるものである。したがつて、いずれが正しいかはこの地震の記述が、どちらを採用したかによるので、この点は歴史家にまかせたい。

グレゴリオ暦 年 月 日	日 本 暦		備 考
	誤	正	
701. 5. 12		大宝 1. 3. 26	文武 5. 3. 21 に大宝と改元
715. 7. 4	霊亀 1. 5. 25	和銅 8. 5. 25	和銅 8. 9. 2 に霊亀と改元
857. 4. 4		天安 1. 3. 3	斉衡 4. 2. 21 に天安と改元
938. 5. 22	天慶 1. 4. 15	承平 8. 4. 15	承平 8. 5. 22 に天慶と改元
973. 10. 30	天延 1. 9. 27	天祿 4. 9. 27	天祿 4. 12. 20 に天延と改元
976. 7. 22	貞元 1. 6. 18	天延 4. 6. 18	天延 4. 7. 13 に貞元と改元
1038. 1. 30		長暦 1. 12. 17	長元 10. 4. 21 に長暦と改元
1096. 12. 17	永長 1. 11. 24	嘉保 3. 11. 24	嘉保 3. 12. 17 に永長と改元
1099. 2. 22	康和 1. 1. 24	承德 3. 1. 24	承德 3. 8. 28 に康和と改元
1099. 9. 20	康和 1. 8. 27	承德 3. 8. 27	同 上
1177. 11. 26		治承 1. 10. 27	安元 3. 8. 4 に治承と改元
1185. 8. 13	文治 1. 7. 9	元暦 2. 7. 9	元暦 2. 8. 14 に文治と改元
1213. 1. 31	建保 1. 1. 1	建暦 3. 1. 1	建暦 3. 12. 6 に建保と改元
1213. 6. 18	建保 1. 5. 21	建暦 3. 5. 21	同 上
1227. 4. 1	安貞 1. 3. 7	嘉祿 3. 3. 7	嘉祿 3. 12. 10 に安貞と改元
1240. 3. 24	仁治 1. 2. 22	延応 2. 2. 22	延応 2. 7. 16 に仁治と改元
1256. 7. 14	康元 1. 6. 14	建長 8. 6. 14	建長 8. 10. 5 に康元と改元
1257. 10. 9		正嘉 1. 8. 23	康元 2. 3. 14 に正嘉と改元
1293. 5. 27	永仁 1. 4. 13	正応 6. 4. 13	正応 6. 8. 5 に永仁と改元
1317. 2. 24	文保 1. 1. 5	正和 6. 1. 5	正和 6. 2. 3 に文保と改元
1331. 8. 15	元弘 1. 7. 3	元徳 3. 7. 3	元徳 3. 8. 9 に元弘と改元
1331. 8. 19	元弘 1. 7. 7	元徳 3. 7. 7	同 上
1449. 5. 13	宝徳 1. 4. 12	文安 6. 4. 12	文安 6. 7. 28 に宝徳と改元
1456. 2. 14		康正 1. 12. 29	享徳 4. 7. 25 に康正と改元
1466. 5. 29		文正 1. 4. 6	寛正 7. 2. 28 に文正と改元
1502. 1. 28		文亀 1. 12. 10	明応 10. 2. 29 に文亀と改元

グレゴリオ暦 年 月 日	日 本 暦		備 考
	誤	正	
1555. 9. 14	弘治 1. 8. 19	天文 24. 8. 19	天文 24. 10. 23 に弘治と改元
1596. 9. 1	慶長 1. 閏 7. 9	文祿 5. 閏 7. 9	文祿 5. 10. 27 に慶長と改元
1596. 9. 5	慶長 1. 閏 7. 13	文祿 5. 閏 7. 13	同 上
1615. 6. 26	元和 1. 6. 1	慶長 20. 6. 1	慶長 20. 7. 13 に元和と改元
1644. 4.7~5.6	正保 1. 3. 1~3. 30	寛永 21.3.1~3.30	寛永 21. 12. 16 に正保と改元
1644. 10. 18	正保 1. 9. 18	寛永 21. 9. 18	同 上
1648. 6. 12		慶安 1. 4. 22	正保 5. 2. 15 に慶安と改元
1658. 5. 5	万治 1. 2. 30	明暦 4. 2. 30	明暦 4. 7. 23 に万治と改元
1661. 12. 10		寛文 1. 10. 19	万治 4. 4. 25 に寛文と改元
1704. 5. 27		宝永 1. 4. 24	元祿 17. 3. 13 に宝永と改元
1711. 3. 19	正徳 1. 2. 1	宝永 8. 2. 1	宝永 8. 4. 25 に正徳と改元
1736. 4. 30	元文 1. 3. 20	享保 21. 3. 20	享保 21. 4. 28 に元文と改元
1741. 8. 29		寛保 1. 7. 19	元文 6. 2. 27 に寛保と改元
1751. 3. 26	宝暦 1. 2. 29	寛延 4. 2. 29	寛延 4. 10. 27 に宝暦と改元
1751. 5. 20	宝暦 1. 4. 25	寛延 4. 4. 25	同 上
1751. 5. 26	宝暦 1. 5. 2	寛延 4. 5. 2	同 上
1772. 6. 3	安永 1. 5. 3	明和 9. 5. 3	明和 9. 11. 16 に安永と改元
1781. 4. 11	天明 1. 3. 18	安永 10. 3. 18	安永 10. 4. 2 に天明と改元
1801. 5. 26		享和 1. 4. 14	寛政 13. 2. 5 に享和と改元
1830. 8. 19	天保 1. 7. 2	文政 13. 7. 2	文政 13. 12. 10 に天保と改元
1844. 8. 8	弘化 1. 6. 25	天保 15. 6. 25	天保 15. 12. 2 に弘化と改元
1854. 7. 9	安政 1. 6. 15	嘉永 7. 6. 15	嘉永 7. 11. 27 に安政と改元
1854. 7. 27	安政 1. 7. 3	嘉永 7. 7. 3	同 上
1854. 10. 11	安政 1. 8. 20	嘉永 7. 8. 20	同 上
1854. 12. 23	安政 1. 11. 4	嘉永 7. 11. 4	同 上
1854. 12. 24	安政 1. 11. 5	嘉永 7. 11. 5	同 上
1854. 12. 26	安政 1. 11. 7	嘉永 7. 11. 7	同 上
1864. 3. 6	元治 1. 1. 28	文久 4. 1. 28	文久 4. 2. 20 に元治と改元
1865. 3. 1	慶応 1. 2. 4	元治 2. 2. 4	元治 2. 4. 7 に慶応と改元
1868. 8. 13	明治 1. 6. 25	慶応 4. 6. 25	慶応 4. 9. 8 に明治と改元